

農業でみつける、わたしの未来。

令和6年度
募集

農業 インターンシップ

学生・社会人
OK

体験受入先は全国
約 250か所!

参加者
随時募集中!

参加費無料



ここが
ポイント

- 農業インターンシップは、農業法人や農場で就業体験ができる制度です。
- 農業法人等で働く従業員の方と一緒に農作業を経験することで、「農業」で働くことを具体的にイメージでき、自分の適性を確認できます。
- 稲作、野菜、果樹、花き、畜産、観光農園等、体験受入先や時期によって多種多様な体験ができます。
- 住み込みでの体験により、体験受入先との交流を深めることや、田舎暮らし・生活面のメリット・デメリットについてしっかり体感できます!

お申込は
WEBから

農業インターンシップ 農業をはじめ

検索

専用ホームページからお申込いただけます。詳細は中面をご参照ください。



公益社団法人
日本農業法人協会

募集要件

- 農業法人等への就業を希望する方、農業に関心のある方
- 満16歳以上
- 健康体で農作業ができる体力がある方
- 当協会が定める「農業インターンシップの目的とルール」を守ることができる方

募集要項

[体験期間]

連続した2日以上6週間（42日間）以内

体験時間は原則1日8時間、1週40時間以内、休日は1週に2日以内を目安とします。

[参加費用]

無料

ただし、体験受入先までの交通費は自己負担となります。

[食費・宿泊費]

原則、体験受入先が負担

原則として経営者宅・社宅等に住み込みとします。

ただし、受入先と体験者双方合意のうえで通いもできます（通いの場合、食費のみ体験受入先が負担）。

[傷害保険]

体験期間中は、傷害保険等（農業実習総合保険）に加入

保険料の負担や事故時の手続きなどは事務局の日本農業法人協会が行います。

募集コース

1 一般体験コース

対象 学生、社会人

期間 連続した2日以上

6週間（42日間）以内

※1日のみの体験は不可。

2 社会人休日体験コース

対象 社会人のみ

期間 連続した2日以上
の休日を複数回組み合わせ
て行う就業体験

体験初日～最終日は
原則2か月以内

※連続した2日以上であれば
曜日は問いません。

※1日のみの体験は不可。

一般体験コース日程例

					10	2024
月	火	水	木	金	土	日
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
						体験期間
						14 15 16 17 18 19 20
						21 22 23 24 25 26 27
						28 29 30 31

社会人休日体験コース日程例

					11	2024
月	火	水	木	金	土	日
28	29	30	31	1	2	3
						体験1回目
						体験2回目
						4 5 6 7 8 9 10
						体験3回目
						11 12 13 14 15 16 17
						18 19 20 21 22 23 24
						25 26 27 28 29 30

体験の注意事項

体験受入先が宿泊費や食費を負担してでも体験者を受け入れるのは、これからの日本農業を担う人材や農業に関わる人を少しでも増やしたいという思いからです。農業インターンシップ事業は体験先のご厚意の上に成り立っています。体験の心構えとして以下の注意点を遵守してください。

- 体験中は積極的に動き、学び、発言し、「農業」を知ってください。
- 体験中は体験受入先の指示に従い、ケガや事故には十分に注意してください。
- 体験先に相談しづらい悩みごとや疑問等は事務局・相談窓口までご連絡ください。

農業インターンシップ内容紹介

体験内容は、体験受入先の経営作目により異なります。作業は農作業だけでなく多岐にわたります。

また、同じ体験受入先でも参加する時期により体験内容は異なります。

1日の作業時間は繁忙期や体験受入先の就業規則にもよりますが、原則8時間とし、1週間のうち40時間を超えないよう休日などを設けるよう努めております。

体験者の1日の例

(季節や天候、体験受入先の作業方法等により異なります)

経営作目	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時
野菜		トマト・キュウリの収穫		出荷調整・箱詰め		休憩		出荷・配達		芽かき・誘引		片付け等		
果樹		病虫防除		房作り・摘粒		休憩				かさ・袋かけ				
酪農	給餌	搾乳	清掃等			休憩		子牛の世話	給餌	搾乳	清掃			
肉用牛		清掃	給餌	管理作業		休憩		管理作業	給餌					
採卵鶏			給餌	集卵	清掃	休憩		洗卵・選別	清掃	集卵				



農業インターンシップのながれ

STEP

1

■専用WEBページ(農業をはじめる.JP内インターンシップ紹介ページ)

<https://www.be-farmer.jp/experience/intern>
をご確認ください



農業インターンシップ 農業をはじめる

検索

■以下の手順でWEBからご応募ください

(所定の様式にて、郵送やメール応募も承ります)

- ①**農業インターンシップの目的とルールをよく読み、注意事項を確認してください。**
- ②受入農業法人一覧(農業インターンシップ受入農業法人台帳)から希望する体験受入先を選んで申込フォームに必要事項を記入してください。
※一覧に掲載されていない農業法人等でも体験受入ができる場合もあります。
ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。
- ③**体験開始希望日の1か月~2週間前までを目安に申込をしてください。**
- ④「農業インターンシップ体験のルール」および「農業実習総合保険」の内容を体験に入る前に必ず目を通しておいてください(保険加入手続きは事務局にて行います)。



STEP

2

■皆様の希望をもとに、事務局が体験受入先に打診をします

- ①事務局は皆様の申し込み情報を体験受入先に送付します。
※体験受入先から皆様に事前連絡し、簡単な面接をする場合もあります。
- ②**体験受入法人等が決定した後、事務局から皆様に連絡します。**



STEP

3

■皆様が体験受入先と直接連絡を取り、準備すべきこと等を相談してください

- ①事務局から皆様に体験受入先の連絡先や担当者をお知らせしますので、この後は皆様から直接体験受入先に連絡を取ってください。
- ②当日の時間や体験先までの行き方、持ち物などの詳細を体験受入先と相談して体験の準備をしてください。
※もし、**体験日程が変更になった場合は必ず事務局に連絡してください。**



STEP

4

■農業インターンシップスタート!

体験期間中は体験受入先の指示に従って体験を実施します。
自らも積極的に行動し、様々なことを吸収してください!!



STEP

5

■体験終了後10日以内に、体験報告書を事務局へご提出ください

体験報告はWEBの入力フォームから簡単に提出できます。
※郵送/Eメールで提出する場合は、
体験報告書の様式(word/PDF)をダウンロードしてご記入ください。



終了

Q & A

Q どんな作業が体験できますか？

A お米や野菜、果物、花き、きのこ等の栽培管理作業全般や収穫、畜産では牛、豚、鶏等の動物の飼養管理作業が体験できます。また生産ばかりでなく農産加工や販売などの体験ができる体験受入先もあります。

Q 体験受入先はどのように決めたらよいですか？

A 体験受入先は、専用 WEB ページ（「農業をはじめ .JP」内のインターンシップ紹介ページ）から検索できます。地域・営業作目など、ご自身の希望に合わせてお探してください。



Q 複数の体験受入先で体験できますか？

A 可能です。ただし、体験受入先ごとに申込みが必要です。まずは1か所で体験してみて、次の体験受入先を検討することをお勧めします。

Q 通いでの体験は可能ですか？

A 体験受入先が可能であれば通いでの体験もできますが、より多くのことが吸収できる宿泊を伴う体験をお勧めします。

Q 報酬はもらえますか？

A 農業インターンシップは「体験」のため、アルバイト代のような賃金報酬はありません。

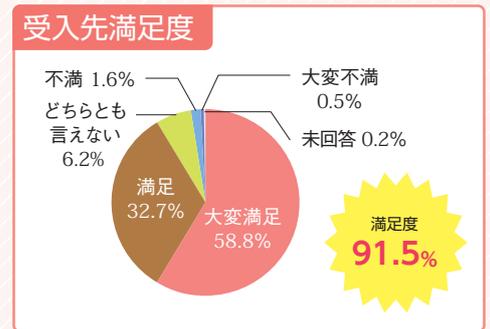
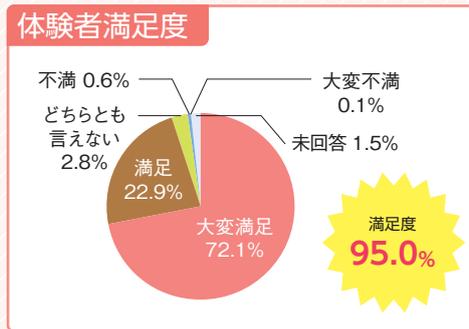
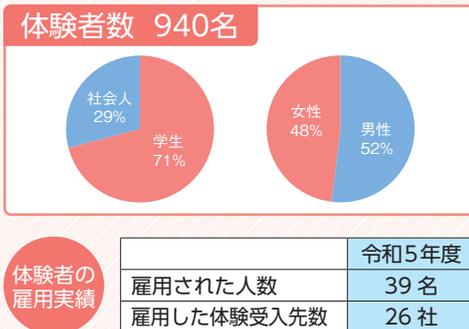
Q 農業法人の求人に応募しようとしたら、インターンシップ体験を勧められました。

A ご自身の農業への適性や職場の雰囲気を知る良い機会となりますので、ぜひご活用ください。

Q 農業法人とは？

A 株式会社などの企業形態で農業を営む法人の総称です。従業員等の独立支援をしている法人も多くあり、農業法人で働いて収入を得ながら、栽培技術などのスキルを身に着けることもできます。

令和5年度の農業インターンシップデータ（実績）



体験者の感想

【高校生男性】 体験の前半日程はハウスでの野菜の作業、後半日程は肉牛の作業を行いました。初めての農業体験でついていくのがやっとの僕でしたが、一つ一つ丁寧に優しく教えてくださり、少しずつ緊張がほぐれていきました。

【大学院生男性】 忙しい中、体験初日には社長自ら時間をかけて会社説明や農園の視察を行ってくださいました。何よりも会社の皆さんが本当に暖かく迎え入れてくださったことに感謝しています。

【社会人男性】 短い期間のため技術の習得というより、農業の楽しさや厳しさ、生活の雰囲気を覚えることに重点をおいて参加しました。作物を育てることの楽しさや食事の美味しさを感じる一方、慣れない農作業には体力的な厳しさを感じました。体力面の更なる向上を図りつつ、次のステップを考えたいと思いました。

【大学生男性】 新しい技術の導入や新商品開発にも非常に意欲的である一方、地道な作業も和気あいあいと行っていて、職場の雰囲気がとても良かった。本やインターネットでは得られない知識を得ることができました。

【大学生女性】 牧場と精肉工場の両方での体験を通じて、牛の管理面や経営面の問題、加工における商品開発など、幅広く学ばせていただきました。牧場から販売店で肉が販売されるまでの流れが理解できました。

【社会人女性】 農業の仕事だけではなく、地域やそこで働く人とたくさん話せたことで、多くの学びがあり、農業は生活と密接に繋がっていることを実感しました。体験すればするほど、気付きがあり、成長できる場でした。



体験受入先の感想

【畑作】 なぜここで体験するのか意識を持って来てくれたので、こちらも対応しやすかった。何事にも責任感を持って取り組む姿勢が素晴らしい、当方の従業員にとっても良い刺激となりました。

【野菜】 独立就農希望ということでイメージや理想が先行している印象だった。経営を継続していくためには十分な収益を得られるようしっかりシミュレーションすることや、家族ともよく話し合うようにアドバイスした。

【養鶏】 大学で畜産を学ぶ学生さんでアニマルウェルフェアの視点を持ち、畜産の問題改善に役立ちたいという意気込みがあった。今後の畜産の発展に貢献してくれる人材と大いに期待できる。

【野菜】 真面目であり、作業指示も理解してコツコツ実施してくれたが、農業経営や農場運営に関する視点の質問がなかったことが少し残念であった。

【果樹】 未経験にも関わらずどんなことも黙々とこなしてくれました。将来についても悩んでいるようで、今回体験したことや沢山お話した中で何か得るものがあったら嬉しいなと思います。

〈 お問い合わせ（事務局） 〉

公益社団法人 日本農業法人協会

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8(中央労働基準協会ビル1階)

TEL.03-6268-9500/FAX.03-3237-6811

E-mail: intern@hojin.or.jp

